

特別企画： 広島県 本社移転に関する動向調査（2021年）

## 2021年、7社の転出超過

～転出超過は7年連続、直近10年間の累計は72社に～

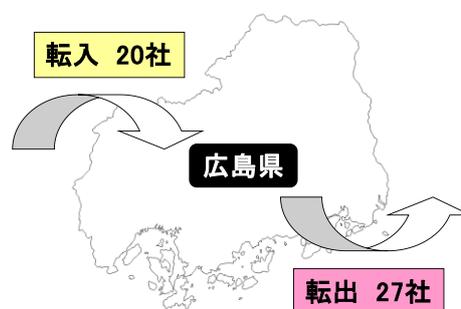
### はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大が、企業に対して「従業員の働き方」や「オフィスのあり方」の再考を促すきっかけとなった。東京都をはじめとした大都市圏では、テレワーク、web会議などを導入するほか、オフィス面積の縮小、本社機能の地方移転を検討・実践する動きもみられる。政府が進めている「まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、東京一極集中の是正と地方創生をさらに加速させる機会と捉え、2020年末には新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた改訂を盛り込んだ。コロナ禍に翻弄され続けた2021年、企業の本社機能の転入・転出の状況はどうだったのだろうか。

帝国データバンク広島支店では自社データベース・企業概要ファイル「COSMOS2」（147万社収録）をもとに、2021年および2012年～2021年の10年間で本店所在地の「広島県への転入が判明した企業」や「広島県からの転出が判明した企業」を抽出し、移転年別、業種別、年商規模別、転入企業の移転元、転出企業の移転先などの分析を行った。

※本店所在地とは実質的な本社機能のある事業所の場所を指し、商業登記上の本店所在地と異なるケースもある

■広島県の転入・転出社数(2021年)



### 調査結果（要旨）

- 2021年に広島県へ転入した企業20社、広島県から転出した企業27社で転出超過に  
 広島県へ転入した企業の移転元、『東京都』（10社・構成比50.0%）が最も多く。広島県から転出した企業の移転先も『東京都』（8社・29.6%）が最多  
 業種別、転入・転出ともに『サービス業』が最多  
 年商規模別、転入・転出ともに『1億円未満』が最多
- 2012年～2021年の10年間で72社の転出超過  
 「広島県へ転入した企業」は153社、「広島県から転出した企業」は225社  
 移転年別、「広島県へ転入した企業」では2019年の21社が最多、2015年の10社が最少。  
 「広島県から転出した企業」では2020年の29社が最多、2014年の17社が最少

## 1. 2021年は転入20社、転出27社

### ○転入企業の移転元・転出企業の移転先（都道府県）

2021年に県外から広島県へ転入した企業は20社あった。『東京都』が10社（構成比50.0%）で最も多く半数を占めた。次いで、『大阪府』が4社（20.0%）、『岡山県』が3社（15.0%）、『山口県』『愛媛県』『兵庫県』が各1社（5.0%）で続いた。

一方、2021年に広島県から県外へ転出した企業は27社あった。『東京都』が8社（29.6%）で最も多く、『山口県』が5社（18.5%）、『大阪府』が4社（14.8%）、『岡山県』『沖縄県』が各3社（11.1%）、『福岡県』が2社（7.4%）、『愛媛県』『埼玉県』が各1社（3.7%）で続いた。

### ○業種別

2021年に県外から広島県へ転入した企業20社について、業種別でみると、『サービス業』が12社（構成比60.0%）で最も多く、『卸売業』が6社（30.0%）、『建設業』『その他』が各1社（5.0%）で続いた。『製造業』『小売業』『運輸・通信業』『不動産業』はなかった。

一方、2021年に広島県から県外へ転出した企業27社についてみると、『サービス業』が12社（44.4%）で最も多く、『卸売業』が5社（18.5%）、『不動産業』が4社（14.8%）、『製造業』が3社（11.1%）、『建設業』『小売業』『その他』が各1社（3.7%）で続いた。『運輸・通信業』はなかった。

### ○年商規模別

2021年に県外から広島県へ転入した企業について、年商規模別でみると、『1億円未満』が12社（構成比63.2%）で最も多く、『1億円～10億円未満』が7社（36.8%）で続いた。『10億円以上』はなかった。

一方、2021年に広島県から県外へ転出した企業についてみると、『1億円未満』が16社（66.7%）で最も多く、『1億円～10億円未満』が8社（33.3%）で続いた。『10億円以上』はなかった。

■広島県へ転入した企業の移転元

	都道府県	件数	構成比
1	東京都	10	50.0%
2	大阪府	4	20.0%
3	岡山県	3	15.0%
4	山口県	1	5.0%
	愛媛県	1	5.0%
	兵庫県	1	5.0%
	合計	20	100.0%

■広島県から転出した企業の移転先

	都道府県	件数	構成比
1	東京都	8	29.6%
2	山口県	5	18.5%
3	大阪府	4	14.8%
4	岡山県	3	11.1%
	沖縄県	3	11.1%
6	福岡県	2	7.4%
7	愛媛県	1	3.7%
	埼玉県	1	3.7%
	合計	27	100.0%

■転入企業

	業種	件数	構成比
	建設業	1	5.0%
	製造業	0	0.0%
	卸売業	6	30.0%
	小売業	0	0.0%
	運輸・通信業	0	0.0%
	サービス業	12	60.0%
	不動産業	0	0.0%
	その他	1	5.0%
	合計	20	100.0%

■転出企業

	業種	件数	構成比
	建設業	1	3.7%
	製造業	3	11.1%
	卸売業	5	18.5%
	小売業	1	3.7%
	運輸・通信業	0	0.0%
	サービス業	12	44.4%
	不動産業	4	14.8%
	その他	1	3.7%
	合計	27	100.0%

■転入企業

	年商規模	件数	構成比
	1億円未満	12	63.2%
	1億円～10億円未満	7	36.8%
	10億円～50億円未満	0	0.0%
	50億円～100億円未満	0	0.0%
	100億円以上	0	0.0%
	合計	19	100.0%

■転出企業

	年商規模	件数	構成比
	1億円未満	16	66.7%
	1億円～10億円未満	8	33.3%
	10億円～50億円未満	0	0.0%
	50億円～100億円未満	0	0.0%
	100億円以上	0	0.0%
	合計	24	100.0%

※売上高の登録のない企業を除く

## 2. 2012年～2021年の10年間、72社の転出超過（転入153社・転出225社）

### ○県外から広島県へ転入した企業数

2012年～2021年の10年間で、県外から広島県へ転入した企業は153社だった。年別で見ると、広島県に転入した企業が最も多かったのは、2019年の21社。一方、最も少なかったのは2015年の10社だった。

### ○広島県から県外へ転出した企業数

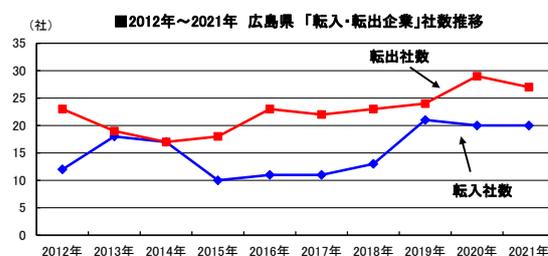
2012年～2021年の10年間で、広島県から県外へ転出した企業は225社だった。年別で見ると、広島県から転出した企業が最も多かったのは、2020年の29社。一方、最も少なかったのは2014年の17社だった。

### ○転入・転出の比較

2012年～2021年の10年間をみると、転入した企業が153社に対し、転出した企業は225社にのぼり、転出社数が転入社数を上回る「転出超過」が72社となった。2014年を除いて転出超過となり、直近では2015年以降、7年連続で転出超過が続いている。

■転入・転出社数の年別推移

判明年	転入社数	転出社数	転入-転出
2012年	12	23	▲11
2013年	18	19	▲1
2014年	17	17	0
2015年	10	18	▲8
2016年	11	23	▲12
2017年	11	22	▲11
2018年	13	23	▲10
2019年	21	24	▲3
2020年	20	29	▲9
2021年	20	27	▲7
合計	153	225	▲72



## まとめ

2021年に広島県へ転入した企業が20社だったのに対し、広島県から転出した企業は27社となり、7社の転出超過となった。2012年～2021年の10年間でも、2014年を除いて転出超過となった。転出先では大都市圏が多く、優秀な人材や豊富な情報量、大きい市場でのビジネスチャンスを探ろうとする企業の思惑があると考えられる。

しかし、長引く新型コロナウイルス感染拡大をきっかけとして在宅勤務やテレワーク、web会議など、出社せずとも業務が可能な働き方の導入が進んできたことで、本社機能や主要拠点が大都市圏へ集中する傾向が緩和される可能性がでてきた。コロナ感染が終息して景気が本格回復に向かえば、コロナ禍以前から課題となっていた生産年齢人口の減少による人手不足の問題が再び顕在化することが見込まれ、本社の地方移転やテレワーク、ワーケーションなど柔軟な働き方を通じて有能な人材の確保につなげる企業もでてくると考えられる。また、政府・地方自治体が進める地方創生を推進する動きも加速しており、将来的な地方経済の活性化にも期待がかかる。

【問い合わせ先】 株式会社帝国データバンク 広島支店情報部 担当：藤井・松岡  
TEL：082-247-5930 FAX：082-249-1242

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。  
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。